

施工要領書

塩化ビニル樹脂系壁紙 一般ビニル壁紙

特徴：一般的な塩化ビニル壁紙です。

施工準備

- 低温時には商品が硬くなっていることがあるため、室内や商品を暖めてから施工してください。接着剤についても低温時は本来の効果が発揮されません。

下地調整

- 入念な下地処理を行い、施工面を平滑にしてください。特に薄手で表面の凹凸（エンボス）が浅いもの、メタリック調や光沢のあるものはご注意ください。
- モルタルや合板下地の場合、アクが発生し壁紙を変色させることがあるため、シーラー処理をしてください。SA シーラー（BB-318）をおすすめします。シーラー処理をすることで下地の通気性を安定させ、壁紙表面の経年変化を軽減します。

接着剤塗布

- 接着剤
NEWサンゲツ糊（BB-378）、ミックス糊 100（BB-304）をおすすめしますが、下地に合わせ、適切な接着剤を選定してください。
- オープンタイム・保管
糊付け後は折りジワがつかないように大きなたたみ、上積みは避けてください。
オープンタイムは比較的長くとれますが、長時間つけ置きをする場合はビニル袋などに入れて養生してください。オープンタイムを過度に取ると乾燥して、相ハギの発生や、ずらし・あおりの作業が困難となり、施工不良の原因になるおそれがあります。

貼り付け

- 常に鋭い刃先のカッターを使用し、下地ボードの表面を切り込まないように下敷きテープ（BB-471）を入れて施工してください。
- 施工する際は、垂直に貼り付けしてください。曲がった状態で貼り続けると、柄合わせに不具合が生じたり、寸法が不足したりすることがあります。
- ジョイント部分はローラーで押さえる必要がありますが、過度に強く押さえるとツヤ変化やエンボスつぶれなどの原因になるおそれがあるためご注意ください。
- 見本帳に記載してある有効巾で施工してください。有効巾を超えた使用は左右の色違いを発生させる可能性があります。また、ジョイント時には壁紙の耳同士でジョイントしてください。巾落としでの耳と耳以外のジョイントは左右の色違いの原因となります。

仕上げの留意点

- 壁紙表面に糊や汚れが付着した場合は、水を含ませたきれいな布で拭き取ってください。糊が付着したまま放置しておくと、変色やかびが発生する原因となります。
- 直射日光や空調による急激な温度変化、乾燥などの環境変化は避けてください。目隙の原因となります。